

第1回備前振興計画審議会 議事概要

日 時	令和2年9月29日（火）13：30～16：30
場 所	備前市役所 3階 大会議室
出席者 （敬称略）	審議会委員：13名 オブザーバー：4名 大井祐史、江端恭臣、橋本成仁、中村有美子、小野田誠、山形明、三木隆司、 浅野パトリシア、川平章、赤迫康代、谷原純子、出井鉄二、峰野裕二郎 オブザーバー：4名 石原大夢、小幡葉月、講崎香月、松川純（岡山県立備前緑陽高校）
要 点	・審議の対象は骨子案たたき台について。 ・審議は、現状と課題の捉え方や取組の方向性を中心とする。 ・会議は公開とし、傍聴を認める。

1. 開会

2. 委嘱状交付（市長より手渡しで委員各位に交付）

3. 市長挨拶

市長： 今回策定する総合計画とは、これからの備前市の骨子となるものである。長期的な視野をもって、これから備前市をどういう方向へ持っていくのか、皆様方のそれぞれの立場からご意見をいただき、実りある会議になるようお願い申し上げます、開会の挨拶とさせていただきます。

4. 委員紹介（各委員より自己紹介）

5. 会長及び副会長の選出

（事務局案により、会長に橋本委員を、副会長に川平委員を選出する。）

6. 諮問（市長より諮問書が会長に手渡される）

7. 第3次備前市総合計画・第2期総合戦略について

1) 審議会について（事務局から別紙資料により説明）

- ・備前市振興計画審議会とは、「市長諮問のうち、備前市振興計画に関する事項について調査および審議する」ことが条例に定められている。
- ・第3次備前市総合計画第2期総合戦略骨子案のたたき台を全3回で審議してもらう。
- ・総合計画とはまちづくりの指針であり、10年後の将来像にむけてどのように取り組

むかを示したものである。

- ・総合戦略とは、なかでも人口減対策を意識した計画である。
- ・総合計画は、市長任期の4年ごとに見直しをするような構成になっている。
- ・今回の審議会では、こちらである程度作り上げたものを審議していただくのではなく、その前段部分を審議していただく予定である。いろいろなお意見、アイデアをどんどん出していただき、それを事務局で持ち帰り文章化する。

質問・意見①

委員：目標の達成状況を第2回までの間に示してもらえないか

事務局：毎年行政評価として進捗管理を行っている。 HPで結果を公表中。

ただし、毎年指標の見直しも行っているため、経年で追えないものもある。

補足：資料2-4において、現計画の評価資料も配布済

質問・意見②

委員：外部委員をいれての検証委員会は行われてきたのか。

事務局：回答した行政評価については、外部の方を招いて毎年検証している。

ただし施策全部ではなく、抜粋したものについて検証している。

加えて、計画策定に際し市民会議や高校生会議などで意見をいただいている。

補足：総合戦略については毎年全部の施策について懇談会を実施

委員：一項目ずつきちんとチェックをすることで、今後実のある計画につながるのではないかと。

会長：検証の体制についても、また後々ご意見いただければと思う。

2) 基礎調査結果報告について（事務局から別紙資料により説明）

- ・計画策定に先立ち備前市のデータを収集した。

（詳細は別紙資料2-1のとおり）

質問・意見①

委員：他市町村とのデータの比較ができると考えやすい。

事務局：個別自治体のデータも収集している。

本日、資料としては出していないが、そのようなデータが一覧になったものがある

ので、準備し送付する。

会長：なかなか分量があるので会議の場ですべて理解するのは難しい。事前に興味があるところだけでも家で読んでいただくと、議論がしやすいかと思う。

質問・意見②

委員：データ集6ページの転出と転入のタイミングに変化のある要因は何か。

事務局：まだ分析しきれていない。

委員：自然動態より社会動態への対策がインパクトがあるとのことだったので、そこはきちんと分析しておいていただきたい。

補足：分析に使用したデータが、2018年より外国人を含んだ集計に変更されたため、若年外国人の移動によるところが大きいと考えられる。

質問・意見③

委員：住民アンケート結果が資料としてあったが、どのようなアンケートだったのか。

事務局：調査票を提示する。

アンケート報告書 <https://www.city.bizen.okayama.jp/soshiki/3/9724.html>

質問・意見④

委員：備前市の財政について、経常収支比率がなぜ高いのか。

固定費が高いのか、収入が減っているのか。

事務局：固定費が高い。

質問・意見⑤

委員：健全化判断比率について、借金の負担割合は高いのはなぜか。

事務局：備前市の場合、下水道事業の展開に対する会計からの繰出金が高いことが原因。

一般的に下水道事業は、整備した区域に対して多くの方が下水をつなぐことによって料金収入が上がるが、備前市についてはそもそも接続家庭が少ない地域にも広く整備しているため料金収入が少ない。そのため、整備の際にかかった工事費を返済するのに一般会計からも費用を出しているような現状となっている。

質問・意見⑥

委員：借金負担が高いにも関わらず、将来世代に負担がかからないのはなぜか。

事務局：借金の額は多いが、貯金をある程度持っているため。

質問・意見⑦

委員：20歳から34歳までの方の転出が多いということだが、その理由はなにかというこ

とを聞いておくのがいいのではないか。

また備前市への就職率・定着率という指標も設けておくべきではないか。

質問・意見⑧

委員　：市民としては内容がわかりにくい。もっと丁寧な説明を求める。

説明もボリュームが大きすぎる。

会長　：事務局にはコンパクトかつわかりやすい資料をお願いします。